

課題1 果物の価格計算書を作りましょう。

完成形

番号	品物	単価	個数	小計
1	いちご	560	4	2,240
2	メロン	1,200	1	1,200
3	パイナップル	850	3	2,550
4	バナナ	230	2	460
5	さくらんぼ	700	6	4,200
6				
7				
8				
9				
10				
合計				10,650
消費税				852
税込合計				<b>11,502</b>

8%

さあ、真っ白なシートにこの表を作っていきます。

最初に大事なことを言っておきます。エンターをポンで初めて、セルに内容が入ります。間違えて打ったら、後から入れてエンターをポンしたのが正しい内容となります。



間違えたら、「元に戻す」でやり直しできます。いくらでも戻れます。

1 項目を入れます。

A1 をクリックし、「番号」と入力します。確定したら Tab ボタンを押します。一つ右のセルへ移動します。「品物」「単価」「個数」「小計」と入力します。幅は気にしなくていいです。

2 番号を入れます。

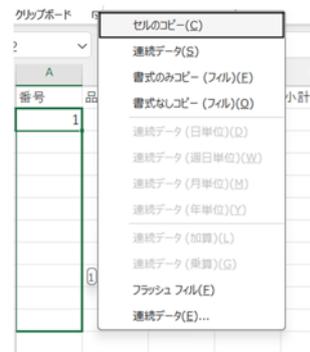
番号は必要なさそうに思いますが、並べ替えをしたときなど、最初に戻す時にあった方が便利です。表を作る時、一番左に番号を入れておく週間を付けましょう。

①A2 をクリックし、「1」と入れます。入れたらエンターで確定をお忘れなく。半角、全角がありますが、数字は原則半角で入れましょう。

②1～10 まで入れていきます。全部打ってもいいのですが、楽をしましょう。もう一度 A2 をクリックしてください。セルの右下にマウスポインタを持っていくと、白プラスが黒プラス(ハンドルと言います。)に変わります。



ここで、マウスの右ボタンを押して(押したまま)、A11 まで下に引きます。そこまで行ったら、右ボタンを離します。連続データをクリック(クリックと書けば左クリックです)



### 3 項目の入力

商品名、単価、個数を入れていきましょう。

①「イチゴ」Tab「560」Tab「4」エンターと入れましょう。

「さくらんぼ」の「6」まで入れます。品物の名前が一部欠けているが、気にしないでください。

### 4 列の幅を調整しましょう。

2つの調整の仕方を教えます。

①自動的に調整させます。列番号 A と B の間にマウスカursorを持っていきます。エレベータのドアが開くような記号が出ます。ここでダブルクリック(左ボタンを素早く2回クリック)します。ちょうどいい列幅になります。

番号	品物	単価	個数	小計
1	イチゴ	560	4	
2	メロン	1200	1	
3	パイナップ	850	3	
4	バナナ	230	2	
5	さくらんぼ	700	6	
6				
7				
8				
9				
10				

②エレベータのマークまでは同じです。その状態で、左クリックをしながら(ボタンを押したまま)、左右にマウスを振ります。幅が自分で変えられます。

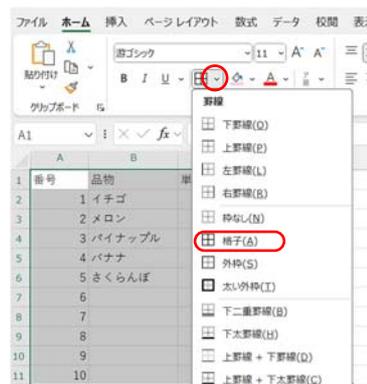


### 5 枠線を引きます。エクセルの基本は、いつでも「どこをどうする。」です。枠線を引く範囲を決めます。番号のところから項目10の小計までですね。

①A1 をクリックします。白プラスになっています。そのまま、左ボタンを押しながら、E11までドラッグ(引きます)し、マウスを離します。選んだところが紫になります。これが「どこを」です。

②「どうする」は「枠線を引く。」です。メニューバー(ファイル、ホーム、挿入、・・・)と書いてあるところです。ホームになっていることを確認してください。なっていない場合はホームをクリックしてください。

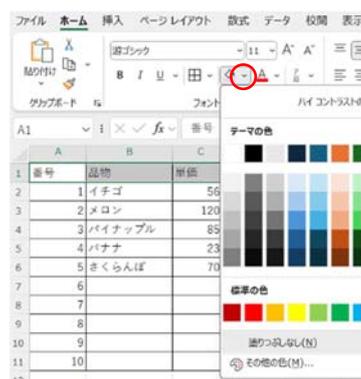
③罫線「田」になっているところの小さい下向き▽(赤丸のところ)をクリック。さらに「格子」をクリックします。枠線を引くことができました。



### 4 セルに色を付ける。これも原則通り「どこをどうする」です。

①A1 から E11 までを選びます。紫になります。

②バケツを傾けたアイコンの下向き▽ (赤丸のところ) をクリック。さらに好きな色を付けます。薄い色を選ぶのがコツです。



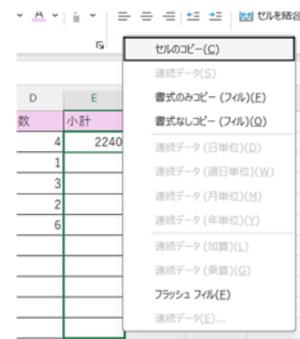
5 計算をさせましょう。イチゴのところを見てください。単価560円のを4つなので、560円×4つで、2240円になります。エクセルで考えると「E2にC2×D2を入れなさい。」ということになります。ではやっていきます。

①「どこをどうする。」ですから、E2に計算結果を入れるということになります。E2をクリックします。数式を入れます。数式は必ず「=」イコール (半角) を最初に入れます。

②イチゴの単価のところ C2「560」をクリック。そしてキーボード化から「\*」(シフトを押しながら、「け」のところ)、さらに、イチゴの個数D2「4」をクリックします。E2には、「=C2\*D2」と入っています。その上の数式バーにも同じ式が入っています。エンターをポン。2240が入りました。



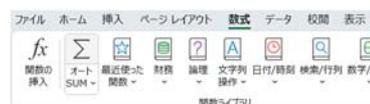
③式をコピーしましょう。メロンもパイナップルも同じようにやればいいのですが、式のコピーで楽をしましょう。E2をクリックします。右下にマウスポインタを動かし、黒プラスになることを確認します。その状態で右クリック。クリックしたまま、E11まで引っ張ります。マウスを離します。「書式なしコピー」をクリック。(左クリックでもできるのですが、後々のことを考えるとこの方法で覚えておいた方がいいです。)



余計な0が気になりますが、後で、何とかしましょう。

6 合計、消費税、税込合計を計算していきましょう。

①D12から、「合計」「消費税」「税込合計」と入力しましょう。次にD12からE14まで枠線を引きましょう。



②合計を計算します。E12をクリックします。メニューバーの「数式」をクリック。Σのオートsumをクリック。コンピュータが合計範囲を予測してくれます。合っていますので、エンターをポンです。



③消費税は、税率が変わってもいいように、F13に半角で「8%」と入れておきましょう。パーセントはShiftキーを押しながら「5」です。消費税は、合計に8%を乗じたものです。

E13をクリック。「=」を入力、E12の合計をクリック、「\*」を入力、F13の「8%」をクリックします。E13には「=E12\*F13」と入っているはず。エンターをポン。「852」と入りました。

合計	10650
消費税	=E12*F13
税込合計	

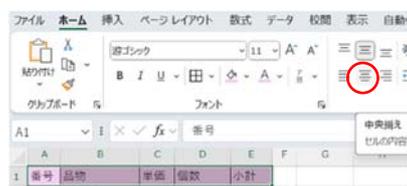
④税込合計は、合計と消費税を足したものです。Σでもできるのですが、簡単に式を入力しましょう。E14、税込合計の欄をクリック。「=」を入力、E12(合計)をクリック、「+」を入力(Shift キーを押しながら、「れ」です)、さらに、E13、消費税の欄をクリックします。E14 には「E12+E13」と入っているはずですが、エンターをポン。E14には「11502」と入りました。

合計	10650	
消費税	852	8%
税込合計	=E12+E13	

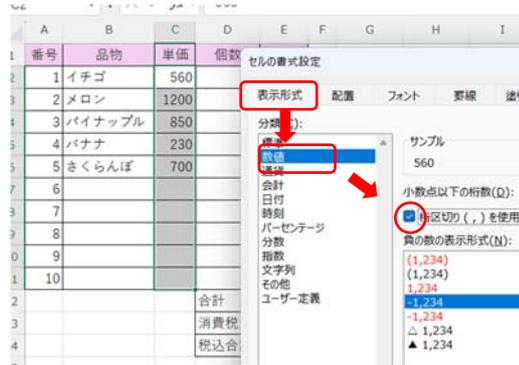
7 表を整えていきます。

①列幅を得全体的に整えます。マウスポインタを「番号」の上にある A に置きます。クリックすると白プラスになりますので、クリックしたまま、Fまで引っ張ります。AとBに間にマウスポインタを持っていき、エレベータ開くボタンになることを確認して、ダブルクリック。全ての列が自動調整になりました。あとは、手動で調整も可能です。

②個数、品物、単価、個数、小計の項目名を中央寄せします。A1 から E1 までを選択します。青くなります。「ホーム」にある配置の中の「中央寄せ」をクリック。



③桁区切りを入れます。いくつか異なる方法があります。単価のC2～C11までを選択します。選んだら「右クリック」、「セルの書式設定」をクリック、「表示形式」をクリック、「数値」をクリック、「桁区切り」にチェックマークを入れる。(クリックするとマークが入る)、「OK」をクリック。1000 円以上の物が無いので、変化なしですね。同様に、小計の欄、税込み合計まで選択(E2～E14)、同様に、桁区切りにチェック。



④税込み合計を太字にしましょう。E14 をクリック。「ホーム」B(BOLD)をクリック。太くなります。もう一度クリックすると元に戻ります。



## 今日の山です。

⑤「さくらんぼ」より下は、品名が書かれていないので、小計の「0」を表示しないようにします。

考え方: 合計の欄は、単価×個数の計算結果を表示します。しかし、品名が書かれていなかったら、空欄とします。

これをイチゴの例で式で言うと、もしB2が空白だったら、何も表示しません。そうでなければ、C2×D2の計算結果を表示します。

さらにこれを数式で表すと、=IF(B2="", "", C2\*D2)となります。「""」は空欄を意味しま

す。イチゴの欄は、B2が空欄ではありませんので計算結果がでます。「”」はダブルクォーテーションで Shift キーを押しながら「2」です。

それでは、E2 の式を修正します。E2 をクリックします。「=C2\*D2」というのがすでに入っていますので、「=」と「C」の間にマウスポインタを持っていき、「=IF(B2=""", """, C2\*D2)」と入れます。最後の「)」は省略できます。最終的に、「=IF(B2=""", """, C2\*D2)」となっていることを確認して、エンターをポンです。何も変化はありません。

次に E2 をクリック。黒プラス(ハンドルと言います)を右クリックしながら、E11 まで引っ張り、「書式なしコピー」をクリック。



1	番号	品物	単価	個数	小計
2	1	イチゴ	560	4	2,240
3	2	メロン	1200	1	1,200
4	3	パイナップル	850	3	2,550
5	4	バナナ	230	2	460
6	5	さくらんぼ	700	6	4,200

「さくらんぼ」までは変化なし。それ以降は、合計が消えました。もちろん「さくらんぼ」の下に「リンゴ」と書くと、計算結果が表示されず。

## 8 保存しましょう。

「ファイル」→「名前を付けて保存」→「ドキュメント」を選んで→ファイル名に「果物の計算書」と入力して、保存します。

保存したものを呼び出すには、エクセルを立ち上げて、「ファイル」→「開く」→「ドキュメント」を選んで、「果物の計算書」をクリックで、「開く」です。